日滿

伊

留内地人や島民の越激は殊の と ため多年經営の渓盆を残し沢 ため多年經営の渓盆を残し沢

達方を興請

前より出動これを包囲攻撃中である。「上海十一日漫興通」最近敵第七十六師の主力部隊約一萬が太湖西岸地區に出没し、上海十一日漫興通」最近敵第七十六師の主力部隊約一萬が太湖西岸地區に出没し

は逆頃に達した、殊に事變の原料の職報一度台灣に傳はるや中野の職報一度台灣に傳はるや中野の職報一度台灣に傳はるや中野の職報一度門政

同、門方面へ出動 軍の厦門島攻略に狼狽した廣東軍常局は余漢謀の名をもつて蔣介石に對して中央軍飛行 後の來援を電請した結果、國民政府は南支沿岸の事態急迫

ゲリラ戦術を封ず

望まし

く目

つ可能

長沙

0

支那空軍に出動を命じ十日夜各地の飛行場に待機してゐた

東に飛來、內十五機は廣軍

に飛去つた

冥糧 缺乏

獨宣教師二名

間に憂慮されてゐる

| 清津密港のさいべりあれで瞬間で左の如く語つたで、清・のででであれている。 | 本書のでは、 | 本書のでは、 | 本書のでは、 | 本書のが、 |

大那側への入電 の希望が達せられよ 部隊は十一日夕刻に至り厦門市内 の希望が達せられよ 部隊は十一日夕刻に至り厦門市内 で、それによつては 建人側體)への入電によれば を常に参戚を感じて 厦門島に上陸し既に厦門市内 一角を確保したわが海軍有力 の希望が達せられよ 部隊は十一日夕刻に至り厦門 で、それによっては 建人側體)への入電によれば を指したわが海軍有力 で、それによっては 地人側體)への入電によれば で、それによっては 地人側體)への入電によれば で、それによっては 地人側體)への入電によれば の希望が達せられよ 部隊は十一日夕刻に至り厦門

支那軍に拉致さる

七田總領事婦朝後七田總領事婦朝後

ENTRE

9

月五

福鳥民友記者戰份

111

利

太湖西岸地區出没の

る際とて彼等は寧ろ同島占領

厦門攻略

台灣島民欣喜雀躍

支那空軍

敵を包圍攻撃

(日 曜 金)

協定内容につき南政府の意見 ・ 対政府との間に参好條約の締 ・ 対政府との間に参好條約の締 ・ 対政府との間に参好條約の締 ・ 対政府との間に参好條約の締 ・ 対政府との間に参好條約の締 ・ 対政府との間に参好條約の締

を交

のため各共中福海陽所在地に代表部を設置することを決定し、先毅伊太利との間には公使を交換し近く又スペインよりも満洲國に公使を派之に對應して瀟洲國では在外大使館、領導館といふ外交機關の擴充整備を企圖し既に蒙邊導 張聯台政府並に中華民國臨時政府方面との連絡館を設置して萬全を期する模様である、すなはち滿洲國の發展は列國をして滿洲國に對する認識を新たにし逐次修好關係を結びつゝあり、 曩に滿獨クレデットの設定をみて防共を含む政治、經濟的に兩國々 修約は軍なる時期の問題となった、 、あるが、補獨修好條約は本日ベルリンに於て締結されこゝに獨逸は滿洲國を正式承認、滿獨滿商 つる、すなはち満洲國の發展は列國をして満洲國に對する認識を新たにし逐次修好關係を結びついあり、 議洲國では修好條約正式成立の場合には現在の通商代表部を擴張して公使館を設け且つ繳領事館、領事 交は益々親善關係を結び 滿

騰する情勢にして右に伴い外務局及び駐日大使、館の業務複雑化に對応して目下これが内容の整備を研究中である 待 的速かに通商係約の締結を約 に した比較的簡単なものである が、調印と同時にベルリンお 登表の独定である に發表で

出て來る筈だ、高橋君はま 旣に釋放され渡邊君も近く

一致空見るの室つたのでリック はいてウエルマン外相の派線を行 は ち十二日或は十三日外務省に カルマウエルマン外務次官、 加藤崎淵國代表との別に正式 たの内容は第一に満獨間の國

極力変態中である、浦鹽のいては未だ剣らない、全補漁船につだ判らない、全補漁船につ の下に實施されるもの 育し米國を攻撃すると 習な歐洲及び亜細距數

香港の支那人有力者

厦門の今後

関府の私政脱却ご我が治政注視

青年、文、官 服 十上洋服服 上洋服服服服服 大經路 上海服服 大經路 五天號

耐近の戦闘に○○部除に孫軍 大は、五日懐遠阿北方支子湖 大は、五日懐遠阿北方支子湖 明近の戦闘に○○部除に孫軍

あフプラ豪にささて鹽感で、事ると突るスリ年位はれ出にほる。の時事時は カーリーのでは、大は、 カーリーのでは、 カーしのでは、 カーは、 カーは、 カーは、 カーは、 カーは、 カーは、 カーは、 カーは、 カーは、 カー

イエト支那大使は蔣廷 の歸【上海十二日發國通】駐ソヴ 駐蘇大 揚元參 使に任命 謀次長 の蹄

場点は日本土官學校および陸 場点は日本土官學校および陸 場点は日本土官學校および陸 あつて何順の 石敷の職術家 軍大學を卒 外石幕下の俊秀で 楽し張群と並び稱士官學校および陸

開始する」旨發表した、右演から六日間にわたり大演習を 迎」米國陸軍航空總司令官フ 「米國空軍は十一日 軍大演習 の亜細距数國が ク十 一日 殺國 ユウス少将 は十日午前六時殿縣西南方において曹澤林麾下の残敵三百を撃破、敵は五十餘の死體をを撃破、敵は五十餘の死體をを撃破、敵は五十餘の死體を

から六日間

米國空

おいて敵の

一百四州

月節句の 13 ()

俗談の残敵掃蕩中の○○部騒(花州十一日彼岗通)津浦線

11

子灣水源

滕縣、 殘敵掃蕩 曲阜附近の

物人退の

意得那

十一日刑事機悪化するも更にいある、傷香港英國軍富局は、よある、傷香港英國軍富局は オ日瀬日本軍の厦門島上建平 治砂立てられた遊難民は小菜 治砂立てられた遊難民は小菜 治の立てられた遊難民は小菜 往 婚逃すること

残敵掃

政治と經濟の良き結合だ 如く永く安し Ti

木 施 (告 報地現)

蓬莱町一丁目電話の3180

日三 日五点

▲西村一郎氏 牡丹江へ ▲中島等一氏 安東へ ▲哈木鯛太郎氏 哈市へ 本治牌生氏 宏天へ 本治牌生氏 宏天へ 本治神生氏 宏天へ

井染U 現地報告映畵です! ルボタージュー

加

書化!! 本戦争映書を粉碎して完成さる北支戦線長辛店附近 が戦争映書を粉碎して完 が戦争映書を粉碎して完 がした五人の斥候兵の映 四郎・伊澤一郎

大名 關東軍新聞班推薦俠畵內務。省、檢閱免除 畵 **主**演

▲ 保月龍三氏 十一日率天へ ◆ 保海線和夫氏 建辛、 ◆ 保海線網和夫氏 建辛、 ◆ 保海線網子 同 ◆ 石川田光氏 同 ◆ 日衛修和大氏 定辛、 ◆ 長濱修一郎氏 泰夫、 ◆ 長濱修一郎氏 泰夫、 ◆ 長濱修一郎氏 泰夫、

隆具阪田 名 監督

家實蛟龍の鈴 類る! たぎる波瀾豪快な娛樂弩終篇稲垣の全意力と阪妻の熱演に その往くこころ血の雨は降り 郎の登場! を廻つて浪人香取

錢十四迄時二十日每

電話では日本へ

農映作傑の高量度年本川摩多活日

演共

今季順溟の魚とも 1、果敢

がら喜ぶべ

夏門間の電信は十一日午後六日香稿十一日後國前」香港と

コロンス島へ

| 「東京関西」十一日午後閉 | 南された日瀬伊連商智易に 南された日瀬伊連商智易に

り左の如きコンミュニケが 競表された ではならびにコンテイ閣 下はそれらびにコンテイ閣

ことを認め、經濟使節の でなしたるが、三氏とも を 一緒緊張ならしむ事が を 一緒緊張ならしむ事が を 一緒緊張ならしむ事が という これ とも

日藤ト関東前の日的に

ため相互には関連の計

香港に代表を厳して食糧買集 香港に代表を厳して食糧財産なっ で居り、湖南省主席張自忠は で居り、湖南省主席張自忠は

に十五萬元を供託して第一回 い十五萬元を供託して第一回 がとして食糧品二萬元を買入 れ目下これが運搬貨車仕立て に狂奔してゐる

三國會議

ユニケ發表

時昂下

署長會

長會議

首

神社に参拝して齊波沐洛緊張だ

陶賴昭。近狀

蒙旗出身兵の入隊美談

開

かよりのり

問し同樂園の飛躍的 元宣の程大塚氏の斡旋で東 の優秀なる絃樂器擔富者

護國の英靈

あす着京

御通夜は公會堂

(=)

尚音樂協會事務擔當者として一

天滿俱來征

郡山理事
表

十四日來京

毎年中であるが、いよく十ワーで氏は、日下オスローにれる米人リンカーン・エルス アルスローに 決定した旨九日發表した 田標探検の北途に上ることに であるが、いよく十

東が放送協會では近 (東京國通) 在外同胞のた AK音樂放送

野田海軍少將等語る

知を今

候場 間內

此へ

段事御務

通所

通

知

航空隊

「東京國通」軍狀觀察ならび を地をめぐつた大本管海軍部 ・ 一、十日歸京十一時海軍省 ・ で左の如く土産話を語つた

また観客を

は、まるか、若し適齢者 炭の苦しみに陥れるものとした上同人の家を燒拂ひ 大柴産軍中にも住民の窮趺をとしてゐるため住民よ 山西の共産軍はこれ等反共勢の反感をもたれてゐる 力の増大によりその形勢に重理の所謂抗日救國の 大變化を來す傾向が頗る濃厚 は理想と現實が餘りにか にたつて來た はに入民を違 にかって來た

武部理事

新京國立賽馬場

十二日歸京

店員募集

標語 h 理想 また共産軍

一、年齢 二十五歳以上 一、年齢 二十五歳以上 一、學歷 中等學校卒業程度 一、 中等學校卒業程度

/ 里日/リ州記 無してゐる、中でも無液に 要なと、自分は被となる、中でも無液に をとしてゐる。、中でも無液に と、自分は後になった。 ので海に、自分は、中でも無液に をとしたがら感感をという。 をとしてゐる。、中でも無液に をとなる。 をとは をという。 をという。 をとは となる。 をとは となる。 をという。 をいる。 をい。 をいる。 をい。 をいる。 を、 をいる。 来征西公園球場に於て十四日年後入時四十五分階はとでお犬隣倶選手二十一名は十三 け離れてを

十四日から三試合治はとでされ午後四時開會した、なほで十四日行はれて筈である

賞を希望してみる 賞を希望してみる でゐるが當日は磨く一般の觀 でゐるが當日は磨く一般の觀 橋本參議夫人

満軍傷病兵と問 橋本参議府副議長夫人久子さ 橋本参議府副議長夫人久子さ 橋本参議府副議長夫人久子さ 信網管の恤兵院を見舞ひ名譽 の傷病兵並に廢兵を懇ろに慰 し夫々金一封を寄附した 滿軍參謀長會議

りはる (一海を越えてやつて 来たイタリーフィアット 合社 東体の重さは十四郎、性能は 八十馬力、時連四十粁、荷物 行の重さは十四郎、性能は 八十馬力、時連四十粁、荷物 で十覧までは大丈夫、し

らヤマト ホテルで支店開設被 東部役會長松本恭助氏は近く 藤本證券 支店披露

お

五色蘭

釀造元

六一八七番

神酒

用は

米と酒

松竹梅

発賣完

ダイヤ街電のかのか番

満

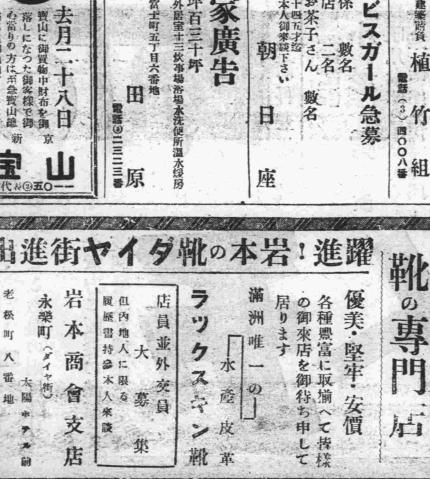
主なる放送

で來京、ヤマトホテルに投宿二日午後九時三十五分輸列車二日午後九時三十五分輸列車 **次官來京** 本暮商工政務

爾哈爾濱へ向ふ豫定である

時十分の列車で來京豫定時十分の列車で來京豫定時十分の列車で來京豫定一氏、 右希望者は至急本人御來談下さい 一、階上お茶子さん 年離二十四五才迄 名 一、第一本茶子さん 富士町五丁目六番地 Fas 數名





が業税は各地無捐局以外では 一般納税者には一段と便利と 一般納税者には一段と便利と から、新京では新京税捐局の 外に中央銀行南遺場支行、大 外に中央銀行南遺場支行、大

いてはかねて審議中であつた | 會は衝報の通の股から科への昇格問題につ 及飲食物取扱首都警察應保安科工場建築股 | 庭衛生科主催

30

会布される この知

海軍將兵士 の通り七日、十日の大坂接業者の衛生座践上他の日本人接客業 氣旺盛

工場科として昇格に決定した
なほ初代科長にす新進工學
なほ初代科長にす新進工學
と
したが起用される原榜である。 の程 一般よ建築

談會首都然然 相互忌憚なく意見を交

附月中央通警管四の保食店 カフエー、料理店業者を終了 下右業者及照業場、舞踏場、 に十二月午後二時から本塵智 は十二月午後二時から本塵智 各署衛生係主任出席の下に開

新京神社南福 電③3839

前よりも大小綺麗な座敷が多くなり

ました宴會も五十人様は出來ます

付の代物で、今回鴻洲進出を 地帯を経積に駆け廻つたがピ がともしなかつたといふ保證 の代物で、今回鴻洲進出を

が事、曾つてイタと最も性トレイラ

御引立の程御願ひ致します

每

向ふ側舊安兵衛前に假營業を十三日より致します何卒倍舊の 々特別の御引立に預り有難く御禮申上ます今般新築の爲め 轉 御 挨拶

橋 古 野 五 *

改移

上げます。
とけます。
とけます。
とけます。
を賜り度く御通州寛々御願申
のす事になりましたから何卒倍舊の
のがに於て從前通り答業
とがます。
を製したから何卒倍舊の
を製岐阜屋を仁徳屋ご改称し五月八

專門店 德

型対器 電影

濁流愛馬に鞭う 國軍精神

如實に輝く

△水野中佐談

りに献花松村社中春祭 伊の優秀 トラック

室天 に着く 山の様な大トラックが横行し 山の様な大トラックが横行し 大は北鮮三港親祭のため十一 日午後十時十分の列車で高岡 小野南事務官、島崎水運科長 を常同して出發した、雄基羅 を常同して出發した、雄基羅 を常同して出發した、雄基羅 十一日出發

平井出次長一行

間約十匹の割で釣れ東側の沼 水迎るみ附近の沼によ愛釣家 の姿がほつ (田で来た、線 路西南の西連花沼では約五、線

は二米四〇に産い、流石の勇 を演派に引ゅされ四月一日の とは二米四〇に産が入ったが同河は連日の を演派に一ます、とも日本で水梁 を演派に一ます、海流は滔々と、流石の勇 を演派に一まず、海流は滔々と、流石の勇 をで被等は危險とは明本で水梁 をで被等は危險とは明本で水梁 をで被等は危險とは明本で水梁 をである。な、一行は翌州日同族 をで被等は危險とは明本で水梁 をである。な、流石の身 をである。大阪日は徐すと。 である人際日に をである。 である人際日に の上ない不名響である。 が同河は連日の の上ない不名響である。 が石の勇 の中ほどまで来ある人 の中ほどまで来ある人 の事である。 である。 でのうな。 ででな。 ででででな。 ででな。 でで 高官私邸荒 全満悪の股旅 係官も驚く巧妙な手

し犯人

ずば銃殺

PP"

鬼畜の

如き

【天津十一日強國通」 潘濱桂 本語 はいよく 十二日平前九時天 はいよく 十二日平前九時天 はいよく 十二日平前九時天 をへて潘夫人は自邸において 日支提携の途は男子ばかり の仕事でなく御園の母と中 の仕事でなく御園の母と中 のの母と中 のの母と中 のの母と中 のの母と中 のの母と中 のの母と中 のの母と中 山西共産軍 (太原十一日發展連一山西各 地の最闘で修政を喫し兵力稼 減した共産軍はその兵力補充 競として所在の部落より十五 競として所在の部落より十五 京津名流婦人 間以下各顧問臨席のもとに南宮轄部院の泰謀長會議第一日南轄部院の泰謀長會議第一日商武時半から于治

ででこざいます、さらしてのでございます、さらしてのでございます、さらしてのでございます、さらしている。 大川朝で今頃は新緑になれば私様に関内のでもります、日本は、東京には長女とでから喜んでから喜んであることでせら、今度やいたちゃくれるさらでんから喜んでから喜んであることが出来るので心から喜んで加いている。 東京には長女と一大田本のお問題を得て日本訪問を思いた。

韫

N/= =

三〇五

獨特野 外料

0

3

葛坂小

城本林

文式・高統

朝代光 引代光 子子子 演助

封十

切日

五

競馬マニア達の萬斛の銀を残 して第一次 護馬の本の 高州の銀を た、 護馬場を華やかに彩る女 性群の中の扇芳三人組の活躍 型日九日の晩はホールに表る女 だのださうです、な気の成績は果し い、待つて居れ、第二次の始 まるのけ廿一日からと思った。 かり」とは正にこのこと、え い、待つて居れ、第二次の始 ながにから待回姿勢を取 で遊びに行つたのかと思った。 は相覚ましいものがあつた、 たり」とは正にこのこと、 まるのけ廿一日からと盛んに かったがら待回姿勢を取 を取るのはヴェッちやんこと、 えったがら待回姿勢を取 を取るのはヴェッちやんこと。 なんに がのたがら待回姿勢を取 を取るのはヴェッちやんこ

条野通子 夏川大二郎 の名曲感激も に歌ひませう!! に歌ひませう!!

宣傳協議が登進出を機に

木

き生に夢

監督 撮影

脚本

000

000

8

01000010

0000

000

000

本出し

堂

ヘレン・本

不が合唱しているが、対象を をも発力するといる事は、対象を をも発力するといる。 をも発力するといる。 をも発力するといる。 をも発力するといる。 をも発力するといる。 をも発力するといる。 ををといる。 ををといる。 ををして、 ををといる。 ををして、 をとして、 をして、 をして、

新らし

き機構 まし

致し

た

内地より

何とか言つて競馬場で仙人掌 アルで類を懸したのは誰でし たかね

満鮮愛國ショウ ディック・ミネ、

開

本

となり、組合員によりリー・ボンス嬢、キルステン・フラー・グステド夫人、ローリッツ・リー・対象を占めてある、彼らのの地割を占めてある、彼らのの地割を占めてある、彼らのでは、 まますら要求の一端を挙げる 大し、オペラ歌手の正常なる 株利郷護に乗出すことになった、豫で映画でお馴染のロー

以外の歌手を

腸胃。病及婦。痛経神

二、歌手の外部的活動に對する會社の干渉反對 三、放送會社が專屬料でオペラ歌手のラジメ出演强御に 支歌手のラジメ出演强御に 番〇八四四(2)話電

イズキセ.氣 脚。病

野心を去り虚楽

□二黒の人 溜りなく物事す ら/~と誰む日但口舌注意 庚と辛と壬が古 ○一白の人 物事売り勝にし で無理をすれば破れを招く 所御大の界浪



五月十四

H

日四十月四 舊日三十月五 这 旗掌本

建大乙金安巳曜

とて \$ すお ばいらし Ln 5 榮養 粉 末 即昆 太

堂 店 日 なく

光蝶次郎郎郎

東林、八四洋田川チ家人一龍弟

登時同同合研築

銃關機。篇爆·笑哄·笑苦

スンヤチの此いな來を又いなれる見に對絶は主度二 うやきなし逃見お非是り限日明々愈

金七千七百萬圓 金七千七百萬圓 八分配 常指置 八分配 常指置 正する前後曾灣は断報の如く エーロギ前。午後と引載ぎ木社重役會影響において開催、決算案。決定したが

四分三重三毛据置と夫々決定削期同様民間採入分、政府側側より特配設も傳へられたが、政府側

中旬荷動発想を示せば左北鮮線の荷動強力を記録、顕線工月中旬における記録、顕線工月初まである一、特強物の荷動強力を示せば左の如くである。

六月廿日總會上程

本みたか、右梁を携行十三日 東役會議において大綱の決定 は新京に赴き軍宣局の承認を は新京に赴き軍宣局の承認を 求めた上、佐々木理事故六月 初め大垣部長長腹主任等は月 で設明した上認可を申請六月 を設明した上認可を申請六月

海外經濟電報

▲大阪綿糸 寄付

新

Ti

各地特産市兄

期するため、今回新たに混合 定である 数温線局では重要特難物図巻 登物被変取扱手線を削り続きませんが、 1 では保貨 ことに決定。 日下総章・統治線局では重要特難物図巻 登物被変取扱手線を削り

各地株式市况

るのだつた。 それには充分な埋山がある。 それには充分な埋山がある。 それには充分な埋山がある。 を四個を持つてあるのである。 たって、縦で、しかもそれ は、この野草が膨にうられて、 にって、縦で、 にって、 にって、

がさも、男さも、公会さも 三人はまれ間の中を、セッセ ご足に任せて売いてあた。 をで、人家のあるごころへ

カウリャンの中に窓動れて つてある身體を、

がち、時には南手を突いて遺・時にはカクリャンに飽って

れて行くさし子夫人の姿・それか、後か、だがそんな情報さん間ではなかつた。 だかのない だがそんな情報されがしたなかのた。 だかりしちなかった。 は、それに強はないであられに立つて這つて行くのを覗て 来なくちや歌目らやないの

ておう身動きも出来なくなっておき出したいさ思ふのだが 三人が三人ながら身を越すだけの力さへなかった。 日が騒々さ照りつけて、響っ 日がなってある。

はならないこ、彼女体病れ切れないまで、生きなければならないこ、彼女体病れ切りして光げ延びた以ばならればならないこ、彼女体病れ切り

し切つてゐる。

さは云つたが、たけず夫人

這つている。繋がつている。北平の方へ流くなるやうに、北平の方へ流くなるやうに、間でも、一間でも、一間でも、 一ッ所にはゐないやうにしや



ででそんなこさにしたのでは 私は良人に済まない、お風に がをそんなこさにしたのでは なた。 陛下に蘇しても済まない、 なた。 陛下に蘇しても済まない。 りに自分で自分を断ました。の中に接触れてゐながら、極 つてずふのだ。私は生きなけ私を殺した支那人の玩具にな

大連、哈爾濱兩市場

律旋な雅優の國南ふ誘に境幻夢 用使ータギクワリトレヱの一唯本日

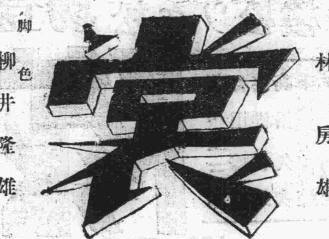
●回三夜畫日五十●四十→

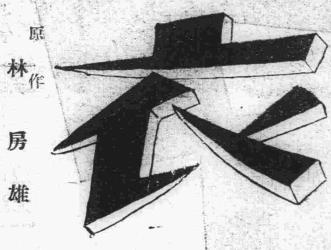
瞳春 并石 ラトスゲーオ





郎次寅藤齋屬梧高田野羅





設なる行動をなり

動をなせ

納、邪、多感和に及及し庫前行廣大破、集撃を木

(東京國通) 来朝中のイタリー國と満洲 この日は滅伊兩國の會議で日本個代表は出 タリー側はコンテイ國長、アウリッチ大使 員、満洲國側阮大使以下關係者出席、兩代 あつた後、議伊兩國間修好、通商航海條約2 あつた後、議伊兩國間修好、通商航海條約2 をなし同十一時散會、満洲國大使 を打合せをなし同十一時散會、満洲國大使 コンミュニケを發表した

國大使館で開かれた 大使館で開かれた 大使以下使節圏 ・ 兩代表の挨拶が、 「一個大使館で開かれた をは出席せず、イ では、 「一個大使節圏」

道部競表=

海軍航空

めて

北湖頭占領

る新安鎭の陷

1

ニケ發表

八會議

【上海十二日發國通】艦隊報道部午後四時發表=

昨十一日午後廈門市を占領せ

る毎軍陸職隊は同夜白石砲臺を占領

を爆撃十合餘を爆破せり

聞

手山 【頁二十刊夕朝紙本】

新京電源 肛 單層高田醫院 門病科 六町 **m** _ Ξ.

をな同〇上頃闘軍

電質を痛感する。 電質を痛感する。 電質を痛感する。 電性の 電性の である。 である。 である。 である。 である。

利成立ですね」と胃製を通じると博士は 設部にクノール博士 に対の調印直前ドイ

後に通商交渉の問題に觸れ

あります、之で瀟濁と双手をあげて喜ぶとれていめ、これでいいのです。 る最と後 を が いてるません、何れ近く開 いてるません、何れ近く開 がされるでせり、公使館開 があると思ひます

交渉行はれ

改訂も

運命鑑定 運の良い人

進メー

摑メー

は、 野熊約中に変形が行はれるも 時期については何等取締めが ないが、條約の効力競生と同 からないが、條約の効力競生と同 がであるに変形が行はれるも 運の悪い人 好機為セデオぐ来れ! 国分の運勢をハッキリー 上 レー注意! 高島易斷所

るだらうと日本軍を信頼し して水田の中に選嫌したな といいふのは全くデマも甚 といいふのは全くデマも甚

式調印を終る

あると

東京吏員等入京 大谷 拓相 大谷 拓相 大谷 拓相 大谷 拓相 大谷 拓相

特 長

2

機の爆

トの を を を を を を を で せう、 調印を はの を で せう、 調印を はの を で せう、 調印を の が 来る と 思びますが の が 来る と 思びますが の が が 来る と 思びますが の で は の が の が れ の に に に が 来る と 思びますが の は の に に が まずる に に の に に が まずる に に の に に の に 。 に の に 。 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。

1 会り () 大がだし () 会り () 男女王の () という () 男女光王の () 男女光子の () 男子光子 () 男子光子 () 男子 (







屋根下地。

賣 元 信



なほ右條 満獨條約の効力發生 き連鎖を有することゝなり、興隆國家の提携をます~〈緊密ならしむるに至つたことは世界平和確立のため洵に障質に堪へざるなりら效力を設生することゝなり、從つて右批准完了の通告日より滿獨兩國に正式國交の樹立をみ、こゝに獨伊防共樞軸と日識道義樞軸とはこの約束等を規定したるものにして、本條約は批准を要することゝなり居り、しかして兩國政府において互に批准完了の通告を了したる日、修好條約關印せられたり、右條約は全文四ケ條よりなり兩國間外交及び領軍關係開始、領事官の待遇問題、兩國間通商條約の締結交渉開。本十二日ベルリンにおいて滿洲國全權委員たる加藤駐獨通商代表とドイツ國全權委員たる同國外務次官ワイツゼッケル男爵との間に滿獨門獨傷的好條約關印に當り外務局は十二日夕刻察長官談の形式をもつて左の如く發表した 約の 效力競生の時期は今月末或は來月早々と解される E で 西五ケ國の沖鎖的防共體側が、 承認により日、満、獨、伊、 一 とワイツゼツケル獨外辦次官 とワイツゼツケル獨外辦次官 大が、該修好條約の内容は概 れ次の如きものとみられる れ次の如きものとみられる は次の如きものとみられる 3、領事條約の締結に至る迄 内が結園は五に領事官に關 内が結園は五に領事官に關 では相互間に外交 を開始す 領 時 期 になるが、満洲國政府として 別設公使を派駐せしめること かくて近く両國政府はベルリ 4、兩國は速かに一般的通商 4、兩國は速かに一般的通商 方、本條約は兩國の首都にお けるその通商代表より批准 の完了したることを互に通 知したる日より効力を發生 対したる日より効力を發生 は 固よ始間 る事およそ十分、ソ聯製主一 大型職闘機五機を墜墜した、 五機は何れる紅蓮の焰を曳い で懸落したが残りの敵機はわ が機の猛襲と友機のみぢめた とした、この日全くの不意を倒 した、この日全くの不意を倒 した、この日全くの不意を倒 いが機が顕歌をあげて選走 もが機が顕歌をあげて選走 もが機が顕歌をあげて望々編 を整へた頃漸く高射砲を射 補獨修好條約の調印にあたり 場國務總理大臣は十二日左の 如く語った 今回ベルリンにおいて表 を経好條約を締結器印するに至った ない、ごきに歌かの近に後好條 が語る章を行び、今またドイツ を修好條約を締結するに至った ない、ごきに歌かの近に基へ ない、ごきに歌かの近に基へ ない、ごきに歌かのであるが、之も をがにするに至った ない、ごきに歌かのであるが、之も 急ぎ準備をするめてゐる ため速かに公使以下の人選を ため速かに公使以下の人選を

張總理談

市を占領せり、海軍航空融は陸職隊前面の敵兵及び敵陣地、兵舎、砲合を反復爆撃し、またタンク、軍用自動車群盟なる敵の抵抗を排除しつゝ前進を續け、正午過ぎ市内の一部を確保し引續き金市の掃蕩を行ひ、夕刻迄に厦門全迄に完完に厦門全市を占領せり、即ち早朝來進撃を開始せる海軍陸職隊は連續的航空部隊の爆撃の支援を受けて頑【上海十二日愛國通】海軍報道部十二日發表=厦門攻略部隊は十一日航空部隊援助の下に漸次戰果を擴襲し、夕刻 毫縣を空襲

「東京國通」大本營海軍報道部公表=わが部隊は十一日夜慶門島磐石砲艦を占領し十二日午前九時胡里山砲墜も攻敵兵の放火、掠奪による以外僅少の見込なり、コロンスにおいては何等の被害なきものと推せらる敵兵の放火、掠奪による以外僅少の見込なり、コロンスにおいては何等の被害なきものと推せらる敵兵の放火、掠奪による以外僅少の見込なり、カロンスにおいては何等の被害なきものと推せらる敵兵の放火、掠奪による以外僅少の見込なり、カロンスにおいては何等の被害なきものと推せらる敵人の損害を被り、その一路に、京國通」大本營海軍報道部公表=わが部隊は五月十一日正午職陣を突破して厦門市に突入、午後六時全市街な「東京國通」大本營海軍報道部公表=わが部隊は五月十一日正午職陣を突破して厦門市に突入、午後六時全市街な「東京國通」大本營海軍報道部公表=わが部隊は五月十一日正午職陣を突破して厦門市に突入、午後六時全市街な (〇〇基地十二日愛國通)陸の荒鷲武田部騒杉浦勝大大尉の売鷲武田部騒杉浦勝大大尉の率ある〇〇機は十一日午前出たる亳縣を空襲、同地飛行場上空にて敵十數機と肚烈なる空中戦を展閉、わが荒鷲等は白雲を巧みに利して或は高く飛行自在の靱術をあって敵を飜弄し戦ひを変ふ

敞五機を撃墜

『北京十二日愛國通』十二日 敵退路斷れ混亂馬頭鎮南方の大

【北京十二日愛國通】 日スミル

○一日設國通】上海軍

東総監楽組員の親兵式に當つ 大部関をでしたのに對したが電光 で帝國を不管にも誹謗する演 でおよって常願をでしたのに對したが電光 のによって行ばれたのに對したが電光 は帝國を正常關係にある帝國 であるをして看過しおが電光 でのによって行ばれたる事實 軍人負委員の要職にある帝國 をでしたのに對したが電光 に對しいである帝國 であるをして看過しれたる事實 では帝國をして看過しれたる事實

日 目勝負

であるなど、主語道断のも のであるなど、主語道断のも のであるなど、主語道断のも のであるなど、主語道断のも のであるなど、主語道断のも

%城進發部隊 英漢口總領事は去る十日

进

ッケル氏と 外務省にお (満洲時間

との間に正式調印をと外務次官ワイツゼと外務次官ワイツゼン十二日強國通」滿

☆木暮武太夫氏(商工政務大

室。冷藏庫。鐵板。亞鉛板等 防寒。防暑。竭濕。 保溫。防晉。絕緣 壓。天井。間仕切。扉。 其他諸板代用。 防熱。 組

然性がなけれ

殿寺となつた年代を知る記録がないから、わからないが 今は惟だ當時の名を残址と供 に留めてゐるのみである。 七金山は、蒙古名では和爾 七金山は、蒙古名では和爾 北で、今尚ほ土民でも之を知 れて、今尚ほ土民でも之を知

りて且つ相應の趣味もあり、 でも曾て見出さよりしは不思 でも曾て見出さよりしは不思

き塔を濫設する一の難があつ た、おもふに、此に邀時相當 たらうか、奚山の麓寺廟云々

학 11181

の語を筆者の記憶に浮んだ。

兗州の朝鮮妓女

ながら、よく今日のが大戦によって大打

獨逸かこ

においてもまことに慶祝に堪 い意よ深くなつたといふ意味 したのだ。耀進强入陵の聯緊

火後を次かで

もと美種族の本營所在地であなって、 秋漢の間乃ち今の承なつて、 秋漢の間乃ち今の承なつて、 秋漢の間乃ち今の承なって、 彼

め、顔ぶる展望の良い場所で 形で高地である。老哈河を俯 形で高地である。老哈河を俯

認めらる

西南の一

程度で、辛ふじて僅か

々と答ふ。

● 率天株式 寄付

大規則)

OH, NEI 을 상 [

株式相塲

教育、消防義務歐、

商况學經

塲日

の言に由

由り、往いてみる。乾問ふてみた、有と孫氏は、曾て此に寺なかり

此の地方は大體において、 造か皆時から漢民の住地では なかつた、今ま見る、此の集 簡が著は、其後における漢人 の移住地であつて、關密廟は 普通見らけるが、寺院は旁ん ど見らけない。乾隆年間に、 たとへ小寺とはいへ建立せし は、なにか、特殊なる理由が たければならぬ。遼は由来、 たければならぬ。遼は由来、 たければならぬ。遼は由来、

の民と雑居し、漸次南方に登年に遠び、始めて安、營二祖

地の紳士で、讃書力も多少あれたらない。ルリ瓦片もない。同行者の孫氏は祖片もない。同行者の孫氏は祖

たまで、 ないのは、ないにも見あたらない。ルップ 片もない。同子

ことは、もとより喜ぶべきこにあつたのである。しかし、にあったのである。しかし、にあったのである。しかし、

第一の所定時期を終つてもきも早くより締結され、そ

ればこそかの通商協定の

ては伊太利とゝもに最も雖然を聞き、まことに愉快されるゝ如く獨逸は、歐洲においる」が

八月頃具體化

會社

資本金は約二千萬圓

北瀬産業の積極的開發に基き北瀬河川交通の重要性に對すれ瀬河川交通の重要性に對す

その一分野を受け持つことと、戦線にも態よ満洲國が明確に並びに伊太利と相連なる防共 大大工工 全間度の航業聯 合制度の航業聯 合制度の報は、哈爾濱においれるとの報は、哈爾濱においては現地の性質上果然關係方面に至大の反響をまき起して ある、傳へられる新機關が設置さ 本金二千萬圓は既定の事實でこれを滿洲國、滿鐵並びに個 人船主の民間側に振當て滿洲 國及び滿鐵は各々七百五十萬 四、個人船主は現物出資の形 において五百萬圓を負擔する

新教育總監

大連油房聯不滿

東京國連 北支職線に活路 「東京國連」北支職線に活路 「東京國連」北支電保中の 「京路でには優遅な 「京路でには優遅な 「京路ででききに帰還して軍状 「京路ででききに帰還して軍状 「京路ででききに帰還して軍状 「京路では長海による。」 「京路ではたる。」 「京路ではたる。 「京路ではなる。 「京路でなる。 「京路でなる。 「京路でなる。 「京路でなる。 「京路でなる。 「京路でなる。 「京路でなる。 「京路でなる。 「京 は同會と
三月を以て終り
「三月を以て終り
「三月を以て終り
「三月を以て終り
「本音通知した」これに對し
大連油房では愛表當時よりの
「成別のての値上げをみれ」 瓦房店にま
「変数をなした油房では 金二百五十5。
「本人の困難を放起」 工場建立
「はない」 の電
「さばない」 の電 値上りを四月一日に溯及し 特約が三月を以て終るので右に對しては同會との間の配炭を公表したが大連抽房聯合會と公表したが大連抽房聯合會 に達してあたのが十一日には に達してみたのが十一日には に達してみたのが十一日には で (十八軒)と激減

五房店にある鞴淵製絲は資本十一年度九月創立され引續き 十一年度九月創立され引續き 工場建設に着手し昨年暮より 「操築を開始、目下一萬五千錘 の運轉を行ひ主にカタン糸な

滿洲製絲增設

鍾運轉をなすことになつた ・に着手し創立當初豫定の三萬 表彰狀授與式を行ひ一、二等を天緬宇品評會は成績優秀者に對し十一日市公場においてに對し十一日市公場においてに対し十一日市公場において 奉天緬羊品評會

山の際に月が感激にある。また、一人の際に月が感激にある。これがらそれでしない、何時の間にないからそれがある。

り飛翔し來る廿餘機一○○基 空に銀翼を連ねて遠く北方よ 空に銀翼を連ねて遠く北方よ 空の覇者 ぎからつぎに盛られて単たる○○には野戦料 っ、慌驚たちの喜びや愉 これは中支の酒だ、やのピールだ、飲んでみのからの歡迎の宴た、 るかして敵の心臓を 支軍萬歲。 ゐる荒鶩廿五機だ 喜びを分けあった ろがつて行く、 月一杯には



る、從來の居留民團は 天津、上海、漢口、青島、 清南(牛莊、安東は太正十 二年廢止)

居留民會、急事會議員をもちである、居留民團となるわければ六つ目の民團となるわけである、居留民團は法律と外務省令によつて定められるが

ずるはずであ 森天省當局では馬匹、畜牛、 精学、豚の改良增殖並に家畜 競策を練つてゐるが本年度は 投資で表の合理化を目標に種々具 機策においては種馬設置、牝 原保留、增殖獎勵、共進會開 性、裝節法改善、畜牛關係で 改良增殖策

玄志、四等,王文顯外九名 金富、張印堂、梁鳳東、隋 政、孫耀、三等、王永庫、孫 部鮮物産見本市

の動揺に伴ふ物價體貴を如なつて三月十三日の南京政なつて三月十三日の南京政 物語つ 物價騰貴の一般的 一四二、八を

紡織品及其原料 相 財類品料料屬 る

貨店で開催の筈である

北支交通會社

交通會批問題その他につき午 會の終了後會議を續行、北支満鐵では十一日午後決算重役 問題協議

一萬二千(未屆人を含まず)北京の在留日本人は四月現在北京の在留日本人は四月現在 設立準備進む

一部關係者に有力候補地と強 頭正面の空地が

の消息を如實に裏書するもの にして新會社登場の曉は當然 相當規模の赴屋建築の要に迫 道外、と前に關しては 道外、と道術碼

出委員會調査 一九二六年平均 事變以來の上昇 事變以來の上昇

戦へ従来のやうな法律に立 萬二千(未屆人を含まず) ない民會ではその秩序を ことが困難になった 處方を促した結果、工場當を缺くものとして工場 物價時代にこの給與改正は Sしたので罷業職工も同日無い撤回、獨に復することを言い十一日自浚的に新鈴與制度 側ので善

歷史的邂逅

の荒鷲

〇〇基地

の明朗譜

設立の謎が高くなり、

事との間に設

奉天省の家畜

上計日

れてゐるが、

麗が高くなり、目下民 居留民團法により民團

安東北一條通り九丁日永昌護 正場同菜組合結成を期し、職 工場同菜組合結成を期し、職 工場同菜組合結成を期し、職 大名工賃制度をとる旨競表、 従来の日給に比し五錢乃至十 銭の給與値下となつた爲め同 工場の 朝鮮人男工十四名、女工百 五十三名、滿人女工六十八 名、計二百三十五名 名、計二百三十五名 名、計二百三十五名 名、計二百三十五名 もっれを不服として能築に入 り双方睨合のかたちであつた り双方明合のかたちであつた

能業解決

機入機が現れたといふので 好き確物と飛んで來たのだ の代り夢に本忘れなかっ なの代り夢に本忘れなかっ た酸の友達と會つて欣びに た酸の友達と會つて欣びに た酸の友達と會つて欣びに ためての空の握手とい かり方を見ての喜びが大 安東の護謨工場 になるわけである

れよつて整然たる秩序を齎らを管掌する一種の地方自治圏

女 店 員 募 集

個定給外に賣上分割支給





* 賜たご而相改有毎申に陽 し頃追 度か しは掛裝難度上亘春 の度格げらの すら皆 0 る 様 宜業部 1 12 敷致は の縮中す引 御は くす來 一には扨立 事益 龙 EA ひな七申り八 5

茶す迷店誠店慶健

し店就感舗

趙秉文の崇を享

西に延亙の一山を土名では駱 ・いふ。山麓に奚がゐたからで ある。「奚は遼の役する所と なり、馬を南山の陽に收ふ」 と史に見る、それがすなはち

大部落である。その南方から大部落である。その南方から

略した。窒毒、奚、陽 ため常に界上を守り、

腐蝕の程度甚だしくど

耕の時報出したものである。 一は漢鏡(一直の字あり)である。ともに、此の城址に農 ある。ともに、此の城址に農 をしは、なにかの礎石 であつたかのそれであ がいまである。門り であったかのそれであ

でも使つて下されば幸ひで 負傷した兵職さんの慰問に 計百三十七町に達したので、 これを纏めて十一日午後〇〇 りますが、御國を思ふ心は 私共はこんか所に働いて居

たやうに小道を貯めたのが合む料理店に働く女性が申合せ **発州で
も朝鮮出身の
同胞が
登**い
住話を
まき散らして
あるが

新京取引市况

一同を感激させた

益校

手形交換高(4)日) 一七九元 五二五、五六

電話(3)二〇七二番

は釋迦の誕生日に相同】五月七日へ陰四

・ 楽の將來は百萬錘餘で、結局 業の將來は百萬錘餘で、結局

| 信息支局|| 延吉に於て開催した 主催の軍職輸迎、慰胡演襲大 主催の軍職輸迎、慰胡演襲大

ねて研究中のところ、差雷

△既設工場

如くであるが

M0'000 1C03

總出演にして頗る盛况であった 依食店組合、日、鮮、瀦藝人依食店組合、日、鮮、瀦藝人が出演者は

▲遠保大豆 月初照月展五個二十九銭、五月限五個三十九銭、五月限五個三十元銭と寄付きたるも、目光では豆粕豆油の好調にで嫌氣手仕織物を扱りで上向き倫理の別談を強いて上向き倫理の別談を強いて上向き倫理の別談を強いて上向き倫理の別談を強いて上向き倫理の別談を強いて上向き倫理の別談を強いている。

歌の内より

敦化南門

外火事

各二車の商内八十銭五月限三

隣家へ延縛、会

報により、数

提あり、消火に

務あたるによ

スの幾多管例

北支の

紡績企業

一、 定

實探、小運動會、競寫會

(美人モデル多数用意す)

(會場に湯吞所、 賣店の用意あり)

(電三一関九四コー)B二階

員

(補員の節はお断りしますから至急申込み下さい)

中和

五月二十日限 五百名

月

潭水

鄉探勝

日バ

京京

京

新新

一小人 半額(望者は別に辨電料五十銭)

午後四時水源地前出發

益四 (上海紡)

DOM 量 西華紡(東洋紡)

大益也(上海紡)

嚴重な許可制度

一、許可を得たる新設工場における製紡機ならびに機機の一定場あたり裏紡機薬敷に一定場あたり裏紡機薬敷に一定場あたり裏紡機薬敷に一定の標準を設け粉來の母設はこのにはいても一工場のにおいても一工場のにおいても一工場のにはいても一工場のには、10世界を設ける。

濟南華制四社

軍隊慰問

物產商況

四月中重要

豫新紡廠(塞紡)

び在清縣に入植した第一次集り間島省安岡縣、延吉縣およけ間島省安岡縣、延吉縣およ

民の質狀調査に着手すること 適正を期するため総住後の移 たが、總督府では移民政策の たが、總督府では移民政策の

第一次集團移民の

で單に防共上から見ても朔北

質狀調查依囑

總督府から鮮滿拓

なるものとしては なるものとしては

一、出

「頻 H

(申込の時希望個所申出でのこと)新京驛前、大同公園前廣場新京驛前、大同公園前廣場

雨天順延

入植後の概況、農作物産 高状況、後民の負擔、治安警 能状況、後民の負擔、治安警 が、後天の負擔、治安警 の活動脈況、

新興の意氣に燃め 北三政府合同 家疆聯合委員會の組織

疆域、住民

昭和十二年八月二十七日皇軍 ・ 保護の手に入城し同三十日地方 ・ 保護の手に入城し同三十日地方 ・ に民業福祉の特進を喫緊事と ・ して宣言を愛し張家口に祭哈 南自治委員會が結成された。 ・ 全宣書=此の時局に際し察哈 ・ 立上並に地方の扇祉を野港するは最も緊要の事と認む、是 ・ たいつて現在我等地方民衆の を持委員會を組織せる所以なな は持委員會を組織せる所以なな を対する。

歴追し、然も共産黨に與し で民生をして飢餓に陷れむ とせり、陰忍自重、差炭の 苦しみに沈淪して敢て言は ざりしこと久しきものあり 然るに今次華北に起りたる 然のしつない。 がのしことない。 がのしことない。 がのしことない。 がのありたる。 がのいる。 がのる。 がのい。 がのいる。 がのいる。 がのいる。 がのいる。 がののの。 がのいる。 がのいる。 がのいる。 がのい。 がのいる。 がのい。 はのい。 がのい。 はのい。 がのい。 が

伊克版盟及び陰山山脈の北側一所謂崇麗コ地の草原連帶こそ蒙古人の普變らぬ游牧の地である。 立經過行政區域 機仁、膨胀、山陰、平魯、 、前側の各縣で人口約百五 ・一萬、打讀く兵亂と軍閥の計 ・一萬、打讀く兵亂と軍閥の計 ・一萬、打讀く兵亂と軍閥の計 ・一萬、打讀く兵亂と軍閥の計 ・一萬、打讀 **懐仁、應縣** 得ればその回復は比較的速か以つてこれが指導育成機宜を 左怎、

員會、産業委員會、金融委員

委員會の組織

右玉

多激

自治政府は蒙古聯盟自治政

交通委員會に分れてゐる

なるを豫想される。 本るを豫想される。 本音北自治政府勝明 、性かに晋北自治政府勝明 、性がに至りては関家 の興亡幾度、國民これが為 と難も近代に至りては関家 の興亡幾度、國民これが為 と難も近代に至りては関家 の興亡機度、國民これが為 になりてより為政者は軍権 になりてより為政者は軍権 になりてより為政者は軍権

與の時に際

民國二十六 上脚して新政治を対策し、東洋本來 に貢献せんこと 祭高なる日本軍 ・十月十五日
弦に際明す

寄るに抗日排 然るに彼の軍

.結 婚

御期待に恥らら絢爛豪華の大歌舞伎

名優

小村家

八代目

関西の交物

成駒家

偏次即o 矮

至

0

言

餘

0

顏

合せ

京

12

花

添

3

13

大

鞍山西辰子(以上十日) 本農安縣田中嘉一郎(三〇 アバート頴原タゾ(二六 出 生 劇界 五月十六。十七日二日間 空

晋北月治政府

菓和 子洋 阪 屋

支 本

唐(2)三四O四至 唐(2)三四O四至 日(2)三四O四至

村置

选 61 紳士のカフェー 0) 送 新京三笠町二子 自 山山

テカル

堂

於記念公

會

開 追 共 給 周 近 装中 华 日 記 關 新 京 H 41 街 震(3)5826+6148

てゐるが、現地側の竈向はつに送り關係各方面と協讓の上 としても慣重なる態度がの先騙をなすもので現地の発調をなすもので現地の

六月二日發會式間島支部 富し東洋人奉げて祝ひ祭る日である、時信も鉄陰勝花の日 は中の腹部に一足航送を暗らす に接した延吉警察顧司法科でに接した延吉警察顧司法科で は中の腹部に一足航送むだと ころ、選これが急所に的中し に接した延吉警察顧司法科で

を開います。 はないか、武辯、長袖をして のである。無敵海軍は無害の のである。無敵海軍は無害の のである。無敵海軍は無害の のである。無敵海軍は無害の のである。無敵海軍は無害の なが のである。無敵海軍は無害の のである。無敵海軍は無害の なが のである。無敵海軍は無害の なが のである。無敵海軍は無害の なが のである。無敵海軍は無害の を関さんの腕にある、先例を禁 力行〇〇縣知事に任めな 本年度大同學院入學探否の 大殿のある配否 を知る私は全く不可則 をかけるに記述す、結局入學者は緩無 、こでも関まなく握り出したが が實行に至つては顧みて値を 徒らに旅費を使つて廳試した であつたのが為りはせなか。 龍門は看板だけではに であったのがありはせなか。 龍門は看板だけではに であるを得つ、門戸開始を が實行に至つては顧みて値を 徒らに旅費を使つて廳試した でるを待つ、門戸開始を であったのが関星ではあるま をかけるに如かずで ながけるに加かずで

學出の悉皆

を見たり 関九十銭にて 関九十銭にて 聞會

六日) 一長女職紀子(三月十二日) 学花園町三丁目一番地佐藤好 甲長女卿生(三月二十二日) 学 本園町三丁目一番地佐藤好 甲長女卿生(三月二十二日) マ 大部町二丁目二十五番地奈 第一長女職紀子(三月十六日)

志長男浩志 二丁目二十四番地ノ四 (御佛訳を生) (引事事1 菓) (子用用キ子)

ク運搬

WENTER THE PROPERTY OF THE PERSON OF THE PER 電 (3) 六三

首周綠龙鄉台

沢村石を含 をよる

風

修ご謂ふ

病氣の話

頃

11

2

3

染病=

は、必獲的のものでなく、或ものには全く缺如して、直ちに發熱、競疹するのもあります。但し眼の赤くなる事、即ち結膜炎の症狀は、今回の流がでは割台に多く現はれて為めに違的(マバユイ)がある。

新京特別市立千早醫院長 安部

篤惠

は紅色の、麻疹競疹よりも利いさい位のものであります。この競疹が中日乃至一日後には漸大擴がつて、軀幹(カーラダ)四枝(手足)に及びます、殊に四肢に來るときにはず、殊に四肢に來るときには、一十四時間後には手背、足門

もがピンとそりかへつて、これがらなったのけるやうにつけると、時

五才の男兒

困癇積持

近頃は睫毛をはさんで綺麗

物)の有線から申しますると、現に、頭に、裏の微疹(吹出した病氣で、裏の微疹(吹出した病氣で、裏の微疹(吹出した病氣で、裏の微疹(吹出した病氣で、裏の微疹(吹出した病氣で、裏の微疹(吹出した病氣で、裏の微疹(吹出)の有線から申しますると

僅か二三

の金體として、競疹は でありま 期くし

低ことに前額部へと 先づ最初へ第一病日

ので

色々の設

而も之に一般病は酸疹を以て起ります

その頃には

額面

紅器と麻疹

位し、

中間

ねて、風疹と謂ふものは、

から、つける時は鏡を遠く離れた。ことです、また、目と肩の間がせまい方は、なるべく上をけにすることです、アイシャがせまい方は、なるべく上を渡くな前で大りは附け方一つで全くお前の底じを變へて終ふものです。

しがきつくなりますから

カラを水で薄めて小さいとは下瞼につけると感じなりますから、附きつくなりますから、附きつけなけを濃くし、下をつけなけを濃くし、下をつけない。

△下り目の人△ァ て見て效果を御覽下さ

三つ

12

なる女見

食慾不振・食物の

適量を



(3) したお化粧は

を 化粧とはたで色を白く がや唇を赤くすればよいのではなく、色の白いのは七難かくすと云 ふ言葉の持つてゐる意 はいのお顔の缺點を化めいのお顔の缺點を化 低い鼻を高く見せる

でで、限に自信のない方ならば、お化粧は すべて限の缺跡を隠す といふことに中心を置 いて行ひます。 みせるといふ處 找きで一本づつぬいて細くい毛が生えてまるりますから手 い眉は剃つてもよけいに濃い から毛

ルの布にその粉を含ませてお 場の栓などを嫌いて黒くしネ はでいます、 です き、これを眉筆で描くと便利 鼻 △ 頻紅のつけ方で、

た「面につけてある方がありた」面につけてある方がありますが、それでは遠く見た時に、 眉と目が一緒になってお

いでせ は壁は茶色、

かしく見えます目の縁に

 $\Delta \Delta$

目を引立たせるに

かせず、また、目と眉の間の間の質中ごろまでに止めて

のやうに長くひいた眉など、一のやうに長くひいた眉など、

見せるにはアイシャ

の方

しお使ひに

なると宜しうござ

名のです、アイシャドウの 総きあがつた美しい睫毛に

色な

夜はプルーがよ

大もふつくりと見せられますし、低い鼻も幾分高くみえまし、低い鼻も幾分高くみえます、鼻の低い方は、昔のやう

五才の男兒我を通

悪童振を發揮する

37

ら治るでせるか (鏡嶺案子) 所はないやうです、どうした (公合) 供の標に考へられて、 ます、色々と「デーを過ぎて「アマヤカス」にを過ぎて「アマヤカス」になっては益々いけません寛か最も程度が最も肝要です、回答者論が最も肝要です。回答者論が最も肝要です。 か(鐵嶺粽子 士滿方寬に度ナれ子

クーガンのやらな悪い子供に金を持たせたら四百萬 クーガンのやらな悪い子供に金を持たせたら四百萬 は南親が所有すべきものです と頑張つてゐる、この結末は一體どうなることやら、と頑張つてゐる、この結末は一體どうなることやら、

症候も自覺的に著しく犯され 安いのであります。 極めて軽 後に終るのでありますから麻 疹であり猩紅熱であり、或は 変疹テフスであららとの心配 だは其病氣の經過が非常に早

タイン並に南耳の後方から出現します、小さい後紅色、或現します、小さい後紅色、或

にのみ決して 風疹とは断定出來ないのでありまして、醫者は、この發疹の他に、或は血液、或は尿を物をし、踏其の他に所謂他覺的症狀に注意する事によって、風疹と謂ふ診谲を下すののにて最も著明なのは、項の腫脹でありますが、之は、風疹には必競の症候とされてあます、時とするとこの淋巴腺の腫脹のために、患者自らい痛い」と訴へて來る事 の他に、或は血液、 物をし、踏其の他 的の症狀に注意す。 であります。此の であります。此の であります。此の であります。此の であります。此の であります。此の であります。此の であります。此の であります。此の であります。 の内にて最も著明

ふの

ない事に就ては、M とりますので此事



東京無線

一一、三五經濟市況(大連)新京)

番組 十三日(金曜日)

大、三〇青曲と落語 九、〇〇時事解説 九、〇〇時事解説 九、二九時報。ニュー 須象通報。ニュー 須象通報。ニュー 、二〇ニュー 、二〇ニュー (イン混しき間 (イン混しき間 (ロ) 歌劇『ファウスト」より オフィストのちレナトド ダアイオリン協奏曲 ヴァイオリン協奏曲 ヴァイオリン協奏曲 世界イオリン協奏曲 一三〇時事解説 (東京) - 不供説 (東京) - 不供説 (東京) - 不供説 (東京) - 不成的 (イン悲しき歌

8

DA 坊江朝ち戸豫

新京学文

母の勝利 花

10 7020 35 7035 40 8050 10 8050 10 8050 10 8050 10 8050 10 8050 豊樂馴場 すくする 赤ちゃんを

母乳そのまと

すつ

顔の缺點に主眼を置く 形の悪い目を引立せたり コツ

に注意し、

薄くぼかしておき

周圍をぼかし、クリーの唇の中心だけに紅を

あしも次第

次第に垢ぬけ

く拭ひとり、

けておく程度の手入れをお

りと黒い襟をつと黒い襟

優のやうにべつとりと唇いつ さらしく厭なものです、と云 とらしく厭なものです、と云 はいに紅を塗つたのは、わざ はいに紅を塗ったのは、わざ

大きな口の方が、外頭

外國の女

と唇がくつき

、進すぎる人も同じつきりと好みの形に

ちる長いのが適當でせら、太らる長いのが適當でせら、太らますが限尻より二分でもよりますが限兄より二分で もちよつと紅をつけると柔ら、よほど目立たなくなります。ほんのりとばかし、また顔に、んでおきます、と大きい口もけ、細い人は上のはうに丸く、ムをつけてドウダーをすりこけ、細紅は、丸顔の人は長くつ一つけ、周圍をぼかし、クリー

窓邊に樂しむ春色

ウインド ボツクス

色ミリ

の草花植ゑて

賃紅のサルビ

あるのです。

映畵でみる外國女優のやうななども出來てゐるので、あのなども出來てゐるので、あの

な夏にかけては、戸外の生活 を室内の生活と一つに結びつ けることが、生活を趣味化す る上に必要です、近頃は都會 も多くなつてまいりましたが 、製飾する

長陽學博士田中貢) 長陽學博士田中貢) 長陽學博士田中貢) 長陽學博士田中貢) (性) すと云ふか、神経関と云ふかどうも棚攤持で仕機がありません、色々「ナダメスカシ」でも見ますが一向よくなりません、吟々は歯ぎしなをして箸等をかんだりします體の方は別に病氣らしい

事の起り、母親のアーサー・ペンスタイン夫人は大慎 事の起り、母親のアーサー・ペンスタイン夫人は大慎 事の起り、母親のアーサー・ペンスタイン夫人は大慎 事の起り、母親のアーサー・ペンスタイン夫人は大慎 ツキ

のだ。それ、

た内部の家庭生活を想像させた内部の家庭生活を想像させく、それはどんなにか樂しげの家々の窓のひとつく 夫をお数へしませう。それは結構自然生活を樂しむよい工 ××へ作り方も簡單

やかにすることでせう。 部屋の中を花で飾るやうに 家屋の外側をもウインドウボ ツクスで飾つてやらうではあ りますんか。 部屋の中を花で飾るやうに一やかにすることでせら。

さに應じて、

それだけの長 忘れずに……… たれだけの長 忘れずに……… たれだけの長 忘れずに……… たっちょうではあ 夏の朝露にぬれてほんのりと

(水) ((((()))) た鰊のカス、たものを一週に一度。水は常たものを一週に一度。水は常意が必要、葉にたまつた水がレンズの作用をして、強い日光で葉が焼けることがある、洗肥で腐ることもあるからである垣根にからますのはこんな心配はいらない。時々肥料と母日水をやる位で十分でせ (芽) 日ほどすると本葉が出るが、この本葉が三四枚出たらシンを摘む。そして脇井がまた四、五枚出たら今度はそのシンを止めて頂くつく

==

演 会報 遺派 支 中・ 支 北

十三日まで 朝 朝日 コユース

1.0. 4.10

十一より三日間

はオリーヴ油をあたためてよく塗り、唇がかさ(に乾かぬやうにしておく事は、普段のお手入れに誰方も忘れてならぬことです、唇の小さい方は、紙のこよりを固く作り、これに口紅をつけて唇の周囲を取形り、それから中へ塗る つけずに、目立たぬやらに自 がにぼかし、どこかほかへ人 がにぼかし、どこかほかへ人 がにばかし、どこかほかへ人 尖つ 紅を没く

韮と肝臓

御

料

理

献

V.

題

七六五四三二

夢ミ君チ花印度の アリヘば

唇

脂肪性クリ

るり

耳もクリームをつけ、上を薄なかく に目立つ部分です、であまり気が付きませんが、であまり気が付きませんが、 ールドクリームをすりこみよ おをつける人はなくなりまし たが、蒸しタオルで蒸してコ になくなりまし 耳もクリームをつけ、上を滞く耳朶を濃く頰紅でほかしま △襟の黑い人△耳か ま薄 ◇材料―華一東、自 本持らヘ方―華一東、自 を持ち、水二くなつ長さにが、水二くなり計で味をある。 で、水二くなりを表する。 で、水二くなり、、自 で、水二くなり、自 で、水二となり、自 で、水二となり、自 で、水二となり、自 で、水二となり、たっとなり、自 で、水二となり、自 で、水二となり、自 で、水二となり、自 で、水二となり、自 で、水二となり、たっとなり、たっとなり、自 で、水二となり、たっとなり、たっとなり、自 で、水二となり、たっとなり、たっとなり、自 で、水二となり、たっとなり、自 で、水二となり、たっとなり、たっとなり、たっとなり、たっとなり、たっとなり、自 で、水二となり、たっとなり、たっとなり、たっとなり、たっとなり、たっとなり、たっとなり、たっとなり、たっとなり、たっとなり、たっとなり、自 で、水二となり、たっ ◆材料―蕨三十 蕨の酢醬 **木油**

ら土を盛りこみ 小石か煉瓦をのめ さで深さと幅は ても箱の色が邪 どんな色の 小穴を明け、 の小穴を明け、 のせ、その上か ならば緑色がよ ならば緑色がよ を用意します

云々する方もゐるが、特別の一大。葉の色で花の形や色彩を

狂ひ咲きでない限りこれは當

のです。夏向には朝顔も

かは、丈のあまり高くならぬもは、のをえらんで下さい、探光やは、丈のあまり高くならぬもまなるべく違くからでも色彩のです。その意味で、三色すみん。近くでは愛らしく、また丈も色低いが、外からみてはあまりはの草花は、その意味で、三色すみたれば、その草花は、その裏の葉を利はの草花は、その裏の葉を利に便利です。

レット、 或は紫

くらる配合のよ

魚草、色とりど

(肥沃土) したのか、 には虫や害虫の卵があることが肝要。 またカビを防ぐために灰を混せることが肝要。

(本)。 花がつく前も、花めの(の)。 花がつく前も、花りは水ハケが悪いことを嫌ふ。併しまたその反面に乾くことをより以上嫌ふ性質がが水を吸收して了ひ乾きがちだから塗つた鉢の方が適當といふわけです。

今が種蒔時

四、四〇経済市況
一次、二〇=ユース一(鮮語)
一次、一〇・二、一〇・一、一、一〇千供の時間)(大連)
一、ニャンコ

章取 3/空 世紀の唱合 電源金足の 電源金足の 日記

科線X児 内 科病性 外 カ三通安央祭館 - ニルー・七〇四ー(2)月 院病安興

(金) (((())) (場合は、 三寸鉢が先づ適當です、ゴロ 土を入れ、鉢の中心に種二粒 も威勢のいくのと、 から拔がずに根もとを鋏で切ってはゐるが、この場合拔くのはいけない、根をいためるが、この場合拔く から拔がずに

の甘煮

な水洗ひして がら火をとし がら火をとし がら火をとし 鳥か牛の肝

料をまぜた土を入れた五寸体へ柔かく植ゑかへる。 (花) ないが、最初に出た双葉は肩の張つた興味のあたない。 櫻の花瓣のやちに細長く尖つた形のものはどうも長く尖つた形のものはどうも しいものを多く選すことで い、双葉が生え た五寸体に

三、五〇經濟市況 (東京) 四、〇〇ニュース(東京) 四、〇〇ニュース(東京) 一國 東京) 年 日 日)(東京) 一國 技館 本市況・ニュースの時間には 本断 ナースの時間には 本断 ナースの時間

6.15 10.3

大型大型 友よ意気 高らかに 高らかに 飛龍の劍 0 日重党告座役割 座 白き手の入々 1050 5000 8000

大



この小説には群衆 でれば幾つかの簡

黒い顔に微笑を浮べてるた。

第十八章以後は干學證の行動を描寫することに重點が置かれてゐる。だがこの數章では我々は些か簡略さを感ずる多くの部分で明示すべきものがあるのに作者はそれを爆露してゐないのである。特に勢してゐないのである。特に勢思記でついても明瞭に描いてゐ思についても明瞭に描いてゐ

えない しくな

和通四六ノニ

貸別勉强

極~简單

れぬであら

改致します

金融株式商品特込 質札にて手軽金融

64泉温 劇

灸あんま

の常店に限る をなさざる品 をなさざる品

)南場創築豊

電話三一二く四二番

電点を表

百貨店

古光堂療院 市光堂療院

作者はそこで彼に希望をつなで「彼はただしつかりと絶えず前に向つて進まうとした

また 御用

質

知愛

三③電、隣社日朝 五二通条

大衆向大衆向

專門

電白

質流品

金

15 2

(K)

の群衆には團結

つてゐない。佐賀田昇君のもでゐるが飴色一色、油繪になってゐるが飴色一色、油繪にない。とのは、一次、一次の個人以上,

作、考へて描かれたも 作、考へて描かれたも りが赤煉瓦が領になる に場中に大作が多い、 は場中に大作が多い、 は場中に大作が多い、 は場中に大作が多い、

らのゐ力

多分にあつたが、洋畵では唯 との一點、こんなのがいけた との一點、こんなのがいけた ではないが、テー ではつて技術上の弱獣を響

の二の舞ひをや 一首謀者を出せ を出せるでせる。 の舞ひをや

は馬鹿で 洋温の定 とお粗末 とお粗末

木すぎる、あれで と 厳はないにして かいのが取柄か

りぐ卒業す

が流行つては困るが流行つては困る

間景の土は他に比して、 に及ぶ有間マダムも なんべんみたいに盛り はんべんみたいに盛り

「は紙細工の廟にハー

「 馬車と 関

関 大きさ散に目につく、やはり 小さな室で描いたらしい無理

出して、た。彼は3年に、 た。彼は3年に、 つけるには恰好の機會 情態さへ抱いてゐた原 情態さへ抱いてゐた原 で思さい抱いてゐた原

財は自分を失つてるためでする。 中性な己の態度を見透かされたやうで、原の冷たく澄んだいで、原の冷たく澄んだいで、原の冷たく澄んだいでの、原の保護にしがみ付いてやった原はさら云ぶと、何が決心したやうな頑持で出て行つた

に二瓶等脚 たこんである。前者 かな落付い にこんである。

トラツク 測量 りの御用は

女は(女子専門)の新都職業紹介所へ新都職業紹介所へ

教京吉野町一丁目 お茶と みどり茶園 気の四七七〇

今辨慶整骨院 はなつが

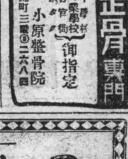
春物 大見切 益 豊 質 店 三笠町三丁目一玉 豊 3 二七七七番 当

新清

部 高・代書

ペインテックス金 講習會















は昔からその巧みな舌術を以て聞えてるたも、 しためんと得意の浮世物語を書き綴る。 とは作者とこれ又一風變つた特殊、生 でも作者の古い友人で一風變つた性格、生 でも作者の古い友人で一風變つた性格、生 でも作者の古い友人で一風變つた性格、生 では作者とこれ又一風變つた性格、生 であらう。今日のやうな時勢のなかに、たを 類うしたのどかな心情になつてゐると思ふ間 には混像を生するのだが、そんな混 をあらう。今日のやうな時勢のなかに、たと 類うしたのどかな心情になつてたのしめる がある。それ以上兎や角のことを言ふので、一寸氣を付 である。それ以上兎や角のことを言ふのであらう。 であらう。それ以上兎や角のことを言ふのであらう。 であらう。それ以上兎や角のことを言ふのであらう。 であらう。それ以上兎や角のことを言ふのであらう。 であらう。それ以上兎や角のことを言ふのであらう。 である。

以上誠に毒舌をつきながら 四洋清部を一巡した譯で水網 西洋清部を一巡した譯で水網 西洋清部を一巡した譯で水網

へな繪

を籠めて、まないと思いません。 「英雄のない。 た。三月には上級學する者が多いのです」 つてしたことです」 つてしたことです」 つでしたことです」 の善悪を伝ってゐる い。首謀者を出すん い。首謀者を出すん

は窓属の方がましだつたらう 山川博君の「手術室」もはや りだからつて、これだけの畵 面はいちない作。李平和君の

**

(附宛本望本 係相一社の網 成成網報刊介)

貸室

(3) 五九四七 所一丁目

第2一〇八五 日 四〇日

り九日離哈、北京に赴いた信電話會社に入ることとか信電話會社に入ることとか信電話の記に入ることとか

お

息

元高店 一

お大いいま

※関氣をよくつかんでゐる 化江畔スケッチ」と共にそ 日崎海紀君の「無題」は「 も出てゐない。そこにゆく

展洋畵

を見

3

足が言へる。今少し硬調が欲待つ」にも質感と量感との不足りぬ。今井一郎君の「祭を足りぬ。今井一郎君の「祭を上りぬ。今井一郎君の「祭をといる」にも質感と量感との不得ながられている。

東美子

大和運輸公司 三秦公司

特効藥安心散

古光堂療院

灸 病人婦気脚

あれま 九州堂療院 一條所五大 電③六五〇九 · 用夏

新京輸入組合加盟店

市場内支店市場内支店

第

製和 菓洋

羹羊色三

八様博奏屋へ

電話金融 白金·金·納高價買入 橫濱屋質店 東二條超二十五數 體記3回七十四數

视时子自大铁层的正

本は、 御希望の方は、 御希望の方は、 御希望の方は、 御の方は、 の中央局) ・中央局)

三友社 電話③三四二四

電話」買ひたし 電話③五六六九番新京梅ヶ枝町三ラ十

東京・記録を 一個人十銭銭 一個人十銭銭 一個人十銭銭 一個人十銭銭 案內

印刷及帳簿

曾場の片

入會隨意 慶應看護婦會

The state of the s

質ふ 一字野浩二「ダ 一字野浩二「ダ

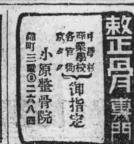
屋かりつ

のクンとこと

中央通(大阪商船積) 清水堂鍼灸院 **機話3六七二七番** △カリエス △ロイマチス 便 炎 原灸







R

症

潰瘍性眼瞼炎

ラホ

I

4

疲*

角膜實質炎

膜

375

急慢性結膜炎

(日曜金)

二十五銭 四十五銭 撤店にあせ

婦人科科

(病)学完備

完 展 宝

外科·性氨科

內科、

(入院隨時•日

永病院

1

合

電易。五八〇三番

Ray t 市機貞三

爾京富士的二丁目 雷·二六〇六番

· 放療所) 一九〇二番 一次原所)

新樂落成

電3・三一七一番

外性皮

專科病體

門

花歸寬

御人婦

吉斯 市 時 時 門 四 丁 目 世

婦童

産性 内

科科科

を表して、

や埃つほい風等春に特有な刺膀ちなところへ、 強い紫外線 病原菌が侵入すると、 戟が加はり、 病が發生します。

附時 電3 · 五七九五番

意隨毙人

便局ノ北

壽院

大〇五番

隨入 意院

電 3 ● 五二四三

長春

醫院 長徳丸ズ

專各 門科

小兒科專門

花 柳 桁 科 茶

饒村佑一

迅用スかをマ を鎖っ ふるに使 眼がって、 にした。 賞讃せられる新眼科 は近 不能を整心を を殺 一來その清新な薬作 菌し 心充血を去 快させます 薬です

治 科 題 新 16 3

大院随意・住参顕常】 新京神社ノスゲ創 第二十二四一番

電220|||五七番

隨入 意院

電 8 · 三 入三 九

児科

婦人科 · 物際科

星雙境

常院院

科性 婦

病

人

內科·小兒科·產科

断兵監束の 野内の

內小

兒

べすると、 忽ち眼或はいろいろな

欧·原 店商置 玉 社會式株 ① 店理代總

摩室 完備 入院 隨富 電3 · 五三九七番

女醫

柴田す

女醫田

譚

電2・二六〇七番

(時避完人)

電②・一三二〇番 郷京新設屯豐榮路

德院

院長 醫學士 上山源大

院

淺井醫院

小兒科專門

ントゲン科新設

内科· 小兒科 電話3・二五二〇番

S-C-19

中島信之

特計店向

病室新設 長春大街護國設治寺筋向電話②五一〇二巻 院長 医 住吉

酸 股外外 姓 新京永樂町一丁目 科科 •四七三四番

皮花內膚病科科科 海

佐野齒科醫院 電話三十六三五三番 〈日滿百貨店三階〉

医院

中野院

(奥平街、パス停留所前)

大和通り

電3。三七五六番

本簡節

新京県智路一〇八

電2 · 四八六九番

料

松農

皮膚• 性病科

眼科專門 【入院 随意

見科科

胃腸肉科科

隨入

意院

レントゲン科

男女性解科

沖津慶 野原(3)五六八九番野原は、沖、津 豆 新京特別市百派街五七 (民生部裏) 小兒科 新京祝町三丁昌三番地 (開花制) 海 御徳用な質流品 浦 電話③三 翻引擎 屋 100 七



植医 電 2 2 安 大路 二 五 與 安 大路 二 五 九九八番 成 院 マントゲン設備 早川 123

新京電本會融牌 醫學博士 三井 忠 電③四八八五番

ルフリンカー製作の本部に たても新作に古くから職ら からます。

豐樂路公設市場入口

電 2 • 三二九七番

際學博士吉田秀雄 電話代表②五九一一

来

満洲

國

通

信

本欄

深町院

八島道 電3三四一六三番 電3三四一六三番 X外內 線科科

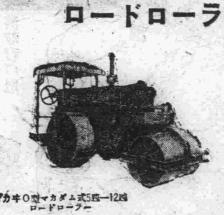
物性小 療病兒 科科科







SKW A型體市式機謀車 410m 20Ton



I

東京市芝區西芝油 電話後用三C九三O番 O三三九章 摄 蓄口 座 東 京一C九·二八五書 の先陣

ところ九十徐名の多数希望者ところ九十徐名の多数有望を を表りなば夏遠からじ短い春 の候となった、そして水冰が の候となった、そして水冰が の候となった、市公署内体勝事務同 は一足とびに過ぎて早や初夏 なった、市公署内体勝事務同 がい部ではかれてより市内各 ではかれてより市内各

日 全部と一緒にたつて練習する 一 全部と一緒にたって練習し國都 一 全部と一緒にたって練習し國都 一 全部と一緒にたって練習し國都 一 全部と一緒にたって練習し國都 一 全部と一緒にたって練習し國都 一 全部と一緒にたって練習し國都

図器の春を縫つで到る所に見 増加して世紀の驚臭國器の春を縫つ に感嘆の彦を發してゐるが、 これらの案内役である新京驛 でであるが、ツーリスト・ビ 呼の再度共職員の状態で大喜 でであるが、十三日の案内中 なするが、十三日の案内中

青少年第二次 精製開拓の維剛に燃える青少年第男軍の本年度第一次移民入植日程 の大橋日程については拓 数省及が鋭道電局との間にお がて協議の結果去の如く決定

されんことを希望されてあ たが、非常時局下進んで急 たが、非常時局下進んで急 たが、非常時局下進んで急

(一) 警察更道の作興に關する件(二) 網路の振張に開する件(三) 人事行政の関する件(五) 事務で員に関する件(五) 事務で員に関する件(五) 事務のに願する件(五) 外勤

職員の慰勞費を

國防献金

農安縣農事合作社から寄託

(日 曜 金)

時歌金にする事に一決、農事 防歌金にする事に一決、農事

合作社として金十個、日系職 調福田米維氏以下五名計七個 が 員福田米維氏以下五名計七個 が 高級計四側九十銭総計金二十 一側九十銭を醸金、十二日午 一側九十銭を醸金、十二日午 で本社ではその を申出でたので本社ではその を申出でたので本社ではその

車から下

大東公司 合資會社大大東公司 合資會社大大東公司 合資會社大社長更任 陸軍少將五十嵐房吉氏は離任、後任陸軍十嵐房吉氏は離任、後任陸軍中將軍藤千秋氏と十二日更任 陸軍少將五

天香師來京

の天香氏夫妻】

御靴。御相談は

靴店

右御希望ノ方へ 電話六五八八番へ 「灰」「足」 互新設備アリ

ける西廣場倶樂部で講演

観光國都の春酣

ふの申込七百名、本年最高

鄉軍第五分會

補充兵教育

一月十三日まで) 本第四日名 (六月二十日より) 本第四日まで) 本第四日名 (六月二十日より) 本第四日 (十月二十四日より) 本第四日

案內各機關大多忙

した管下の一齊戸口屆出は 顔都に於ける正確なる一月實施 と市民注目裡に、首都警察廳 躍進國都の象徴 戸敷は七萬、驚異的激増ぶり 口調查心結果發表 五萬突

管業 違反調査 特別の計可證書替を目聴にして最近業者中北支方面に輸出 活を放任してゐるもの或は無

秀警官表彰

同同同 森豐、同繁長 桑田 信製、同同 丸井汲厳、四 道街署警尉補 渡邊喜三、 同警士 劉友宇、同同 范 京警士 劉友宇、同同 范 、長通路署等尉補 疾を 等長 後後郷 、長通路署等尉補 疾を 時速入、同警士 汪振寶、

譚に當つたと言つてゐる

習會を軍人會館で開催するた関家防衛法に基き、防衛講

店を放任してゐるもの或は無 立反者をしば(見受ける情 遠反者をしば(見受ける情 で、一層取締の徹底をす る見地から管下のこれ等業者 の内容に就いて近く一齊に詳

日 自然警察廳が二月に實施した 一齊戶口屆出に際して、その 指導員として勘務に精勵よく 電績を擧げた機範警察官に對 し今回總監より表彰すること 上なつた、この名譽の表彰を 受ける警察官は左の十五名で 場合である。

スケの漫才

帝都で放送

エンタツ、エノ

於ける戶口並に人口が左の如 を完了し関都の三月末現在に 地中であつたが、この程整理 地中であったが、この程整理 首警管下署長會議

の国出に關する件(一九)動員業務に関する件(一九)月籍国に関する件(二〇)恩賞事務に就て特務料關係

國家防衛講習會

大經路署警尉補 山本仁太郎 決定した

東通署警尉補 山本仁太郎 決定した

東通署警尉補 山本仁太郎 決定した

リベツタ博士が 日より八日間全補防空關係者

一行中の唯一の日本語の話せ 一行中の唯一の日本語の話せ のために長崎上陸以来親しん で來た「愛國行進曲」のイタ リー譯を志し、漸く大連への 車中で脱稿したがその苦心の

近く満航到着

本社新京移轉も

一、 母音は音楽のをなけらない。 からは「愛國行進曲」は「フルギット」に とが盛んに出て来るだけ日本語では強い カス大帝に捧げた唄)に酷似し はイタリー語の表別で進曲しはイタリー語をあり行進曲中に太陽のこのであり行進曲中に太陽のよびをなしたも のであり行進曲中に太陽のよびをなしたも のであり行進曲中に太陽のよびをなしたも のであり行進曲中に太陽のよびをなしたも のであり行進曲中に太陽のことが サクラレはファット」に は アシスト 第の基礎をなしたも のであり行進曲中に太陽のことが また は できない は ない は できない は にない は

~第一日の指示事項

意見を開陳慎重研究討議の上事頂三十件を議題として相互

科闘係

事業としてはまだくそのであるが會 断くの如く會社事業は驚異的

く到着すること」なつてゐる界に誇るユンケル八六型も近

成には本社 のでこれを にがいよく 機動 を移聴することに決 がで近く建築に をものと見られる、東 ですのと見られる、東 でで近く建築に をつたので近く建築に をつたので近く建築に に移動す に移動す

お互ひに遠く所を異にして別れてしまひ、その間五ケ年彼の世の来京に依り再會の機會を得、昔の想出を語り合はうと心待ちに待つてゐる人がある。その人はマンチューリ

氏は仕事の都合でマンチ

が、ヘレン・本田といへば現代 九三三年頃、當時ホノルルに働いてるた日高氏と知りた動が英譚して満出、マイ大の銀行家のになり、同年ハワイ大変者の「女天下」を日高氏と知りではして出した時非常な好でにして出した時非常な好の後日本語等で彼女を使つた。 として世に賣り出した頃日高名になり彼女がヘレン・本田

「猫鮮愛國ショウ」の旅を題がてある日本ジャズソンを界の流行歌手デイツル・ミネ、ヘレン・本田の一行は十四日來ステーザに立つて楊泰國都樂 行は七日東京第一同元氣で明た滿洲國代表黒田監督以下一 ヘレン・本田

隱れた後援者 國都に久しき再會待つ日高氏

慶大に大勝 對四二で大勝し益々好調で 0

幸先きよし 籠球滿洲代表

と慶大と練習試合を行ひ七一るが、十一日まづ小手調べにるが、十一日まづ小手調べに

類き 天け の ふ 気の 最低 最高 一七度九 五度一 五度一

川談内地人に限る

ての

わま地

入荷

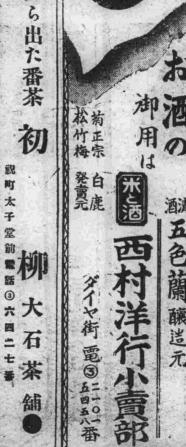
文の

!!! 6

和久田三郎氏に差出すと「有みと注いで先づ來賓の元天龍 よかつた、負けた残念會だついたったので皆呆氣に取られていた。 へと息もつかせず、そのうごわす」と受取つてゴ

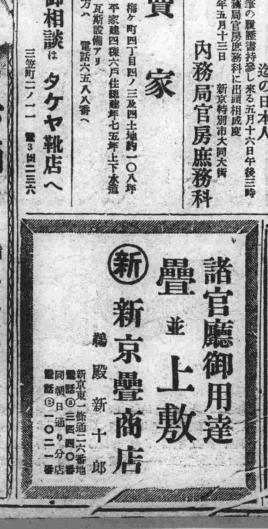
SAN CONTRACTOR 玉露園から 出た番茶 說 太子 堂前

H 3 六四二七番 石茶



會の時黒水寮 の優勝で閉幕 同寮では直に









るらしい街の風飲に、低ては香

その浪人とそ大江軍やに遊びな

銀座新道角

診 院

隨

新京吉野町 記念

六五三〇番

ギヤラメル

重子

榮養保健菓子

生

堂

新高の

パナナ

坊ちゃん

纏ちやん

のお友注

蓬

任寺の荒れ故風、野良狐の規だつ

遊る物震さであった。

ねでどざりますか」と反つて概な

おまへ様は、あの浪人衆をお売

職あがりの庭前には踏み備した足職が歌。座娘の限戸は明けつ放しで、 を放っている。

(三百三十四)

700人表:

映然上 化 中

一雨 郎之

人たちゃう

てしまつたといふととでね。…なって、またもとの無世帯になっ

日の既、あの烈しい暴風雨の最中 時も、との時に以はれてゐるので

○單

0

〇單

新京吉野

電

(3)

一四番店

〇純

2

新

荷

〇單

「はあ。お削さま、よく御存知だ

お似のことだと長七郎 つてゐるのは人間です。 養のやうに、眠んで、此方を観

新京

B

本 機構器

眼がギラギラと光つてるました。



へあがり、だん (魔家・強んで たう (彼は土民のまとで座職 が、引起して來た時、あたりはる う。よほど暗くなつてゐました。 きげまはる鼠の音が、天井裏で酸の音が、天井裏で酸の その足質に驚いて。コンノ 產科、婦人科增設



正完関黨

新 **音快速** 式十五個八十 (月賦取級)

電話③二九五三番

新京メイヤ街老松町一六側日通 新京メイヤ街老松町一六側日通 で 輪 三 九

隨入時院

會 合

電話代表③六二

室内外の

松井獅子

關東軍·滿鐵·滿洲國·御指定 TA 天野商店塗装 塗裝 II



產科婦人科 善

獎福 券代 電 商品券の賣買も致 新 京祝 南廣場 電話③ 町 上號號 與銀横) 三丁目 用でさい

2969636969

新髙の

午前十時的分は年後 朝日連丁深町河 電三三八四三番

蓊

進運送





363636363636 ちり紙町全山 三帝合

御愛用下さい

讀書、運動



告 0 御 用 命 館話 三二三三〇〇番へつ

新支店出張所

0 廣

